

グローバルCBオープン・ 円コース

追加型投信／海外／債券

第53期末（2016年5月19日）	
基準価額	8,853円
純資産総額	12,621百万円
第48期～第53期	
騰落率	△1.7%
分配金合計	300円

*騰落率は収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

◆運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

◆当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）については、以下の手順で閲覧およびダウンロードすることができます。

<閲覧方法>

下記ホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」を選択⇒「ファンド検索」を選択⇒「ファンド名で検索」にファンド名を入力*⇒該当のファンドを選択⇒「運用実績・レポート」を選択⇒「運用報告書（全体版）」を選択

※償還の場合は、「償還ファンド一覧」を選択

ホームページアドレス
<http://www.daiwasbi.co.jp/>



お問い合わせ先

受付窓口：（電話番号）0120-286104

受付時間：午前9時から午後5時まで（土、日、祝日除く。）

※お客様のお取引内容につきましては、ご購入された販売会社にお問い合わせください。

第48期 2015年12月21日決算 第49期 2016年1月19日決算
 第50期 2016年2月19日決算 第51期 2016年3月22日決算
 第52期 2016年4月19日決算 第53期 2016年5月19日決算
 作成対象期間（2015年11月20日～2016年5月19日）

受益者の皆様へ

毎々、格別のお引き立てにあずかり厚くお礼申し上げます。

さて「グローバルCBオープン・円コース」は、このたび、第48期から第53期の決算を行いました。

当ファンドは、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。

ここに、当作成対象期間の運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

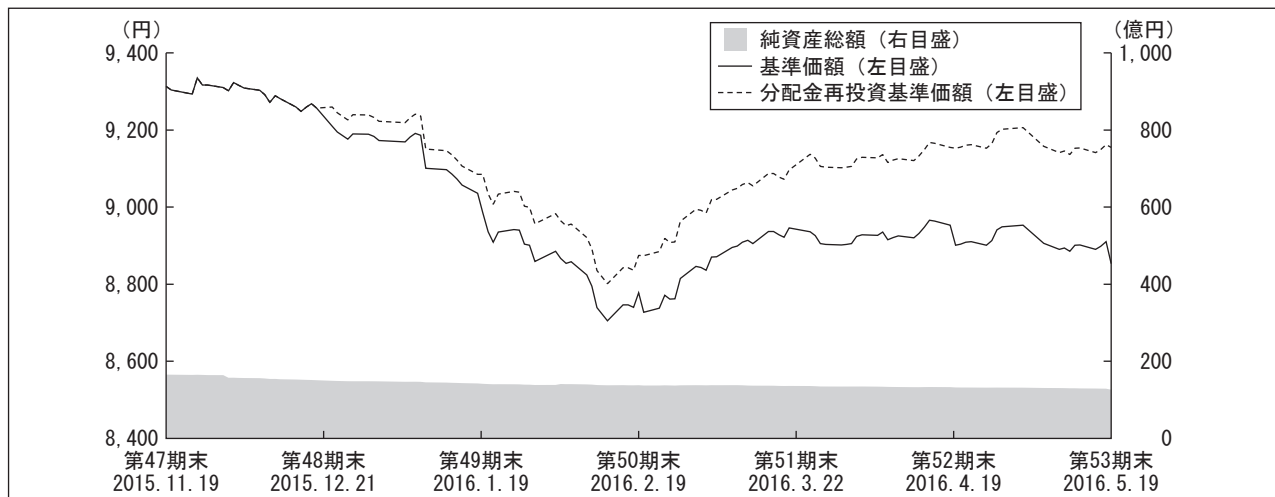


大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

運用経過

【基準価額等の推移】



*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、作成期首の基準価額を基準に算出しております。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

第48期首： 9,313円

第53期末： 8,853円（作成対象期間における期中分配金合計額 300円）

騰落率： $\Delta 1.7\%$ （分配金再投資ベース）

【基準価額の主な変動要因】

当ファンドは、Global Convertible Bond Fund JPY Classへの投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象としました。

（上昇要因）

主要国の中央銀行が緩和的な姿勢を強めたことにより、主要国の市場で金利が低下しCBにプラスに働いたことが上昇要因となりました。また、2016年2月中旬以降にリスク資産全体が反発し、CBの相場がこの動きに追随したことも上昇要因となりました。さらに、クーポンの高いCBでの利息収入も引き続きプラスに貢献しました。

（下落要因）

原油価格の下落や、中国およびグローバルな経済成長への懸念から、特に株式市場、新興国市場、ハイ・イールド債券市場がリスク回避的な動きから下落したことが下落要因となりました。

【1万口当りの費用明細】

項目	第48期～第53期		項目の概要
	2015年11月20日～2016年5月19日		
	金額	比率	
信託報酬	47円	0.524%	信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率 作成期中の平均基準価額は9,010円です。
（投信会社）	(17)	(0.188)	ファンドの運用等の対価
（販売会社）	(29)	(0.322)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
（受託会社）	(1)	(0.013)	運用財産の管理、委託会社からの指図の実行の対価
その他費用	0	0.004	その他費用＝作成期中のその他費用÷作成期中の平均受益権口数
（監査費用）	(0)	(0.004)	監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	48	0.528	

* 「比率」欄は1万口当りのそれぞれの費用金額を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

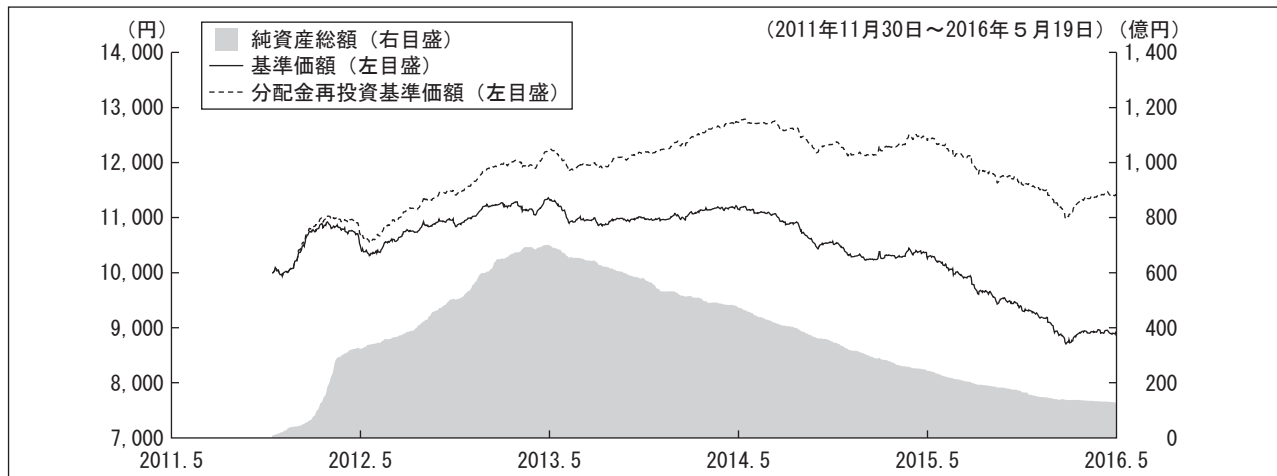
* 作成期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む。）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

なお、その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託受益証券が支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

* 各項目ごとに円未満は四捨五入しています。

【最近5年間の基準価額等の推移】



*当ファンドの設定日（2011年11月30日）より表示しております。

*設定日の基準価額は設定価額を、純資産総額は当初設定元本を表示しております。

*当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

*分配金再投資基準価額は、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

*分配金を再投資するかどうかについてはお客様ご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

	2011年11月30日 設定日	2012年5月21日 決算日	2013年5月20日 決算日	2014年5月19日 決算日	2015年5月19日 決算日	2016年5月19日 決算日
基準価額 (円)	10,000	10,393	11,314	11,149	10,292	8,853
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	250	600	600	600	600
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	6.4	15.0	4.0	△ 2.3	△ 8.3
純資産総額 (百万円)	840	32,298	69,795	47,434	24,444	12,621

【投資環境】

当作成期のグローバルCB市場は、作成期末にかけて回復が見られたものの、それまでの下落が大きかったことで、リターンはマイナスとなりました。

株式などリスク資産の市場については、原油価格の下落が2016年2月中旬まで続き、リスク選好の度合いが大きく低下しました。また、中国およびグローバル経済の成長に対する懸念や、ブラジルでの政治問題などリスク資産の変動を促すような材料が数多く見られました。これらを背景に株式市場は下落基調が続きました。しかし、2月の中旬に中国経済などへの懸念の後退と原油価格の反発がきっかけとなり、市場は大きく反転しました。ただし、それまでの下落をすべて取り戻すには至りませんでした。

一方、債券市場については、米国では利上げが開始されたものの、日本および欧州の中央銀行は緩和姿勢を強め、先進国金利は全体的に低下基調となりました。欧州では、欧州中央銀行（ECB）が債券購入の対象を社債にまで拡大する量的緩和策の強化を行いました。また、米国では2015年12月に約9年半ぶりとなる利上げが実施されたものの、緩和的な姿勢は維持され、利上げが積極的に行われたいとの見方が強まったことなどが債券市場には追い風になりました。

このような環境下、グローバルCB市場では、リスク回避的な動きが強まったことによるマイナスの影響は残ったものの、金利低下によるプラスの効果がグローバルCB市場の下落幅を限定的としました。

国内短期金融市場では、短期金利が海外投資家による短期の国債への需要の高まりを背景に、マイナス圏で推移しました。また、2016年1月末の日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」導入が短期金利を大幅に押し下げる要因となりました。作成期首-0.1%付近で始まった3ヵ月国債利回りは、-0.05%近辺へ推移しました。その後、1月末の日本銀行の発表を受けて-0.1%付近で推移した後、作成期末にかけて-0.26%付近で推移する動きとなりました。

【ポートフォリオ】

■グローバルCBオープン・円コース

主要投資対象であるGlobal Convertible Bond Fund JPY Classを作成期を通じて高位に組み入れ、作成期末の投資信託証券組入比率は99.2%としました。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

市場環境の大きな変化に対してできるだけ柔軟で機動的な運用を行うように努めました。2016年2月中旬までのリスク回避的な姿勢が強まった市場環境の下では、キャッシュ等の比率を高めとし、新興国市場への投資比率を抑え、下落リスクをできる限り抑制することを目指しました。しかし、原油価格が反発し、主要国の中央銀行が緩和的な姿勢を続けたため、市場ではリスク選好の度合いが回復したとの見方から、キャッシュ等の比率をやや減らし、CB等への投資に振り向けました。個別銘柄では、南アフリカの家具メーカーであるシュタインホフ・インターナショナルへの投資がプラスに寄与しました。一方、米国の大手再生エネルギー会社のサンエジソンへの投資がマイナスに作用しました。同社は債務再編に至ったため、すべて売却しました。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

安全性と流動性を考慮し、短期の国債・政府保証債中心による運用を行いました。年限に関しては、6ヵ月以内の短期の国債・政府保証債を中心とした運用を継続しました。

【ベンチマークとの差異】

当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数はありません。

【分配金】

収益分配金は、分配可能額、基準価額水準等を勘案し、第48期～第53期の各期において50円とさせていただきます。(1万口当り税込み)

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用を行います。

■分配原資の内訳

(1万口当り・税引前)

項目	第48期	第49期	第50期	第51期	第52期	第53期
	2015年11月20日 ～2015年12月21日	2015年12月22日 ～2016年1月19日	2016年1月20日 ～2016年2月19日	2016年2月20日 ～2016年3月22日	2016年3月23日 ～2016年4月19日	2016年4月20日 ～2016年5月19日
当期分配金 (円)	50	50	50	50	50	50
(対基準価額比率) (%)	0.54	0.55	0.57	0.56	0.56	0.56
当期の収益 (円)	50	50	50	50	50	50
当期の収益以外 (円)	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額 (円)	1,598	1,612	1,627	1,647	1,662	1,677

※円未満を切り捨てしているため、「当期分配金」は「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計額と一致しない場合があります。

※当期分配金の対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。

今後の運用方針

■グローバルCBオープン・円コース

引き続き、運用の基本方針に従い、主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債(CB)等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

米国の経済成長は依然として底堅く推移していると見られ、米連邦準備理事会(FRB)の緩和的な姿勢や、ECBの社債買入れを含む量的緩和策は、グローバルに資産価格を支える材料になると考えています。

グローバルCB市場の動向に影響を及ぼす主な市場のうち、社債の価格水準は、想定されるデフォルト率を考慮しても、まだ十分に割安であると見ています。また、株式は債券と比較してリスク対比のリターンの中で魅力的であると考えており、グローバルCB市場は、中長期的にこれらの恩恵を享受できる状況にあると期待しています。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド

日本銀行の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和政策」導入に伴い、残存1年未満の国債・政府保証債の市場利回りはマイナス圏で推移しています。引き続き、安全性と流動性をもっとも重視したスタンスでの運用を継続し、短期の国債・政府保証債を中心とした運用を行っていきます。日本銀行による金融緩和政策が続くため、短期金利の上昇リスクは限定的と予想します。ファンドの平均残存年限については2～4ヵ月程度を目安に短めを基本とする方針です。

お知らせ

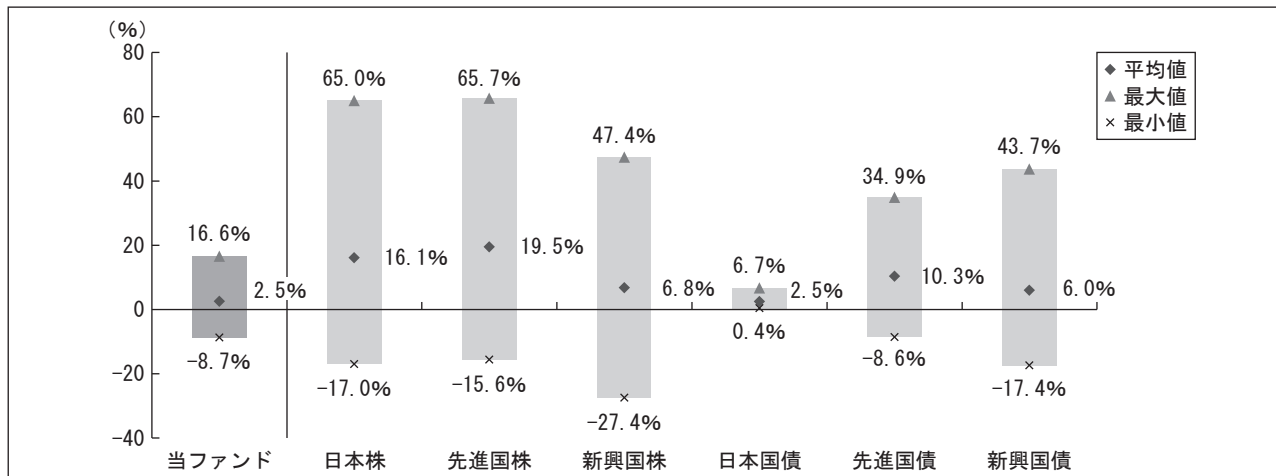
該当事項はございません。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2011年11月30日～2021年11月19日（約10年）	
運用方針	主として円建て外国投資信託証券への投資を通じて、新興国を含む世界の企業が発行する転換社債（CB）等を実質的な投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。なお、親投資信託であるキャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券へも投資を行います。	
主要投資対象	当ファンド	<ul style="list-style-type: none"> ・Global Convertible Bond Fund JPY Class受益証券 ・キャッシュ・マネジメント・マザーファンド受益証券
	Global Convertible Bond Fund JPY Class	<ul style="list-style-type: none"> ・世界の転換社債（CB） ・為替取引の活用
	キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	本邦通貨建て公社債および短期金融商品等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none"> ・ファンド・オブ・ファンズ方式で運用します。 ・外国投資信託証券への投資比率は、原則として高位を保ちます。 ・銘柄の選定に当たっては、市場平均よりも相対的に利回りの高い銘柄を中心に、企業の信用力分析や株式価値等を総合的に勘案して銘柄を選定します。 ・原則として保有する外貨建資産に対し、米ドル売り、円買いの為替取引を行う外国投資信託証券に投資します。 	
分配方針	<p>毎月19日（休業日の場合は、翌営業日）の決算日に、収益分配金額は経費控除後の利子・配当収益および売買益（評価損益も含みます。）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託者が決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には分配を行わないことがあります。</p> <p>* 分配金自動再投資型の場合、分配金は税金を差し引いた後自動的に無手数料で再投資されます。</p>	

【当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較】

当ファンド：2012年11月～2016年4月
 代表的な資産クラス：2011年5月～2016年4月



●上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

*当ファンドと代表的な資産クラスのデータの期間が異なりますので、ご注意ください。

*全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

*当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

*騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

<各資産クラスの指数について>

資産クラス	指数名	権利者
日本株	TOPIX (配当込み)	株式会社東京証券取引所
先進国株	MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
新興国株	MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)	MSCI Inc.
日本国債	NOMURA-BPI国債	野村証券株式会社
先進国債	シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)	Citigroup Index LLC
新興国債	JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド (円ベース)	J.P.Morgan Securities LLC

(注) 上記指数に関する著作権等の知的財産権およびその他一切の権利は、各権利者に帰属します。各権利者は、当ファンドの運用に関して一切の責任を負いません。

当該投資信託のデータ

《当該投資信託の組入資産の内容》

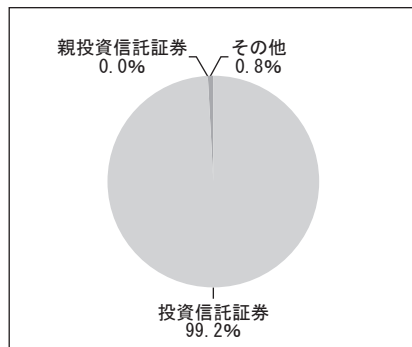
【組入ファンド】

	第53期末 (2016年 5月19日)
	組入比率
Global Convertible Bond Fund JPY Class	99.2%
キャッシュ・マネジメント・マザーファンド	0.0%

*組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

【資産別配分】

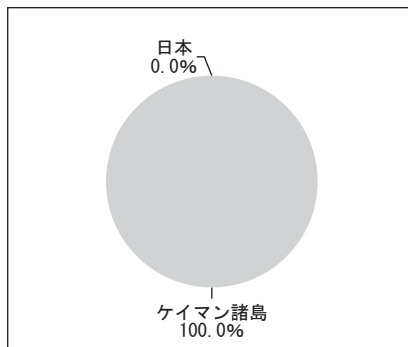
(2016年 5月19日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

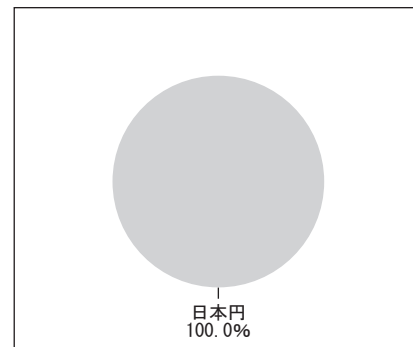
(2016年 5月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2016年 5月19日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【純資産等】

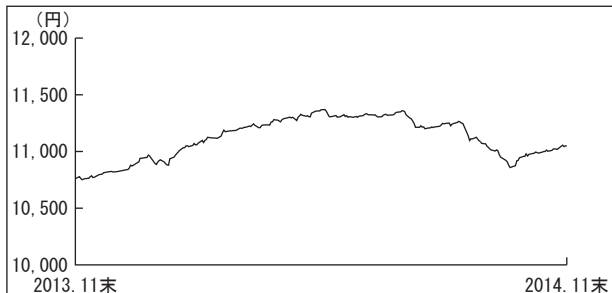
項目	第48期末	第49期末	第50期末	第51期末	第52期末	第53期末
	2015年12月21日	2016年 1月19日	2016年 2月19日	2016年 3月22日	2016年 4月19日	2016年 5月19日
純資産総額	14,928,061,827円	14,147,652,496円	13,704,043,048円	13,576,241,992円	13,203,951,365円	12,621,704,719円
受益権総口数	16,209,114,788口	15,744,201,757口	15,702,409,488口	15,193,468,580口	14,834,015,655口	14,257,446,816口
1万口当り基準価額	9,210円	8,986円	8,727円	8,936円	8,901円	8,853円

*当作成期間中における追加設定元本額は402,757,778円、同解約元本額は3,899,960,325円です。

《組入ファンドの概要》

■Global Convertible Bond Fund JPY Class

【基準価額の推移】



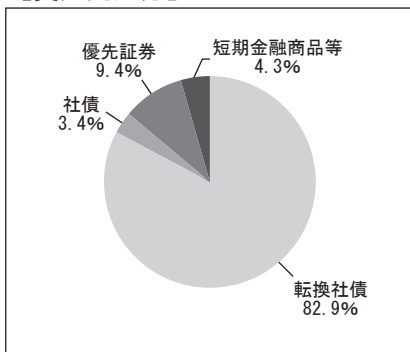
*上記グラフは、基準価額に分配金を分配時に再投資したものと表示しております。

Global Convertible Bond Fund

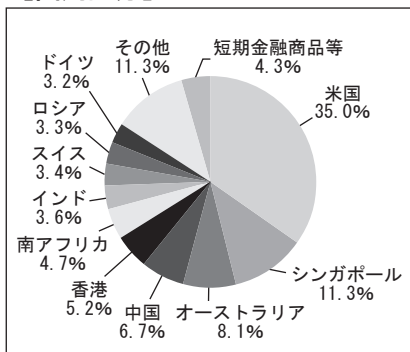
【1万口当りの費用明細】

費用については、開示されていないため、掲載しておりません。

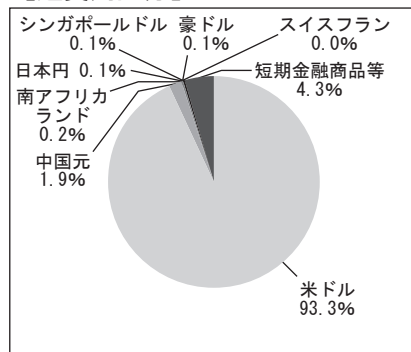
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



【組入上位銘柄】

銘柄名	国名	クーポン	償還日	業種名	比率
1 BANK OF AMERICA CORP	米国	7.250%	2049/12/31	銀行	5.4%
2 SINA CORP	中国	1.000%	2018/12/1	ソフトウェア・サービス	4.9%
3 CAPITALAND LTD	シンガポール	1.850%	2020/6/19	不動産	4.9%
4 NOVION PROPERTY GROUP	オーストラリア	5.750%	2016/7/4	不動産	4.6%
5 WELLS FARGO & CO	米国	7.500%	2049/12/31	銀行	4.1%
6 PROSPECT CAPITAL CORP	米国	4.750%	2020/4/15	各種金融	4.0%
7 PALADIN ENERGY LTD	オーストラリア	3.625%	2015/11/4	エネルギー	3.5%
8 ARES CAPITAL CORP	米国	4.375%	2019/1/15	各種金融	3.5%
9 CSG GUERNSEY IV LTD	スイス	7.125%	2017/3/22	各種金融	3.4%
10 LIBERTY INTERACTIVE LLC	米国	3.500%	2031/1/15	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	3.4%

(組入銘柄数 36銘柄)

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は2014年11月末現在のGlobal Convertible Bond Fundの純資産総額に対する比率です。

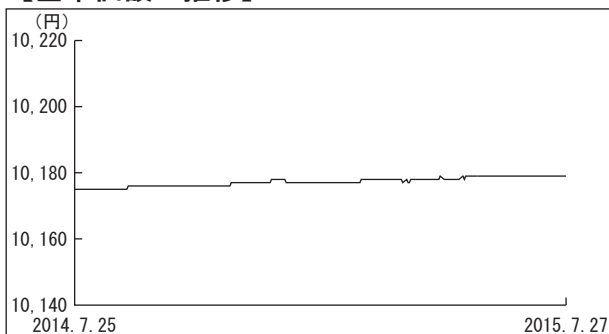
※ 組入上位銘柄における業種名は世界産業分類 (GICS) です。

※ 当ファンドの運用報告書作成時点において、入手可能な直前計算期間のGlobal Convertible Bond Fundの情報を記載しております。

※ 詳細な情報等につきましては、運用報告書 (全体版) に記載しております。

※ 上記はブルーベイ・アセット・マネジメント・エルエルピーから提供されたデータに基づき作成しております。

■キャッシュ・マネジメント・マザーファンド 【基準価額の推移】



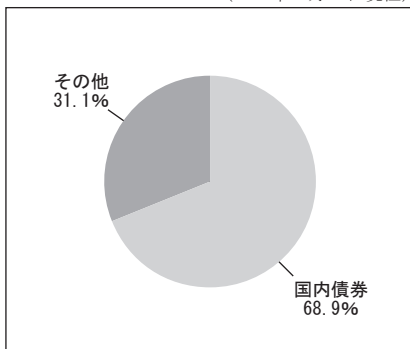
【1万口当りの費用明細】

(2014年7月26日～2015年7月27日)

当期中に発生した費用はありません。

【資産別配分】

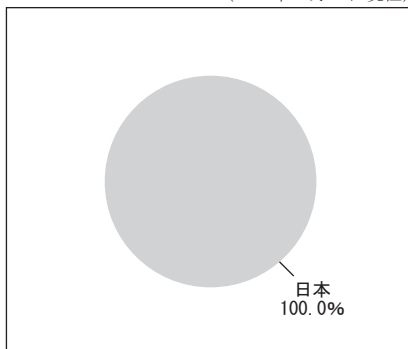
(2015年7月27日現在)



*純資産総額に対する評価額の割合

【国別配分】

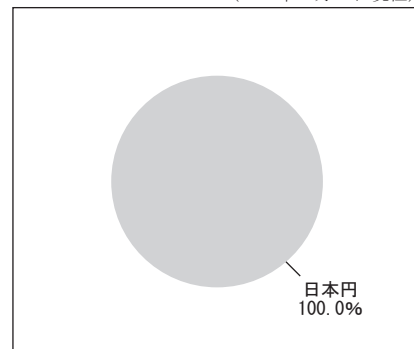
(2015年7月27日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【通貨別配分】

(2015年7月27日現在)



*ポートフォリオ部分に対する評価額の割合

【組入上位銘柄】

(2015年7月27日現在)

銘柄名	比率
1 332 2年国債	13.8%
2 333 2年国債	11.8%
3 336 2年国債	9.8%
4 535 国庫短期証券	9.8%
5 335 2年国債	7.9%
6 21 トヨタファイナンス	2.0%
7 388 九州電力	2.0%
8 376 東北電力	2.0%
9 32 共同発行地方	2.0%
10 38 野村ホールディングス	2.0%

(組入銘柄数 13銘柄)

*比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

※ 全銘柄に関する詳細な情報および直近の計算期間の運用経過等につきましては、運用報告書（全体版）に記載されています。

※ 基準価額の推移、1万口当りの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

※ 資産別配分、国別配分、通貨別配分、組入上位銘柄は組入ファンドの直近の計算期間末日のものです。



世界に通用する質の高い
資産運用会社を目指します